

## 200mL献血をご希望される皆様へ

平素より、献血へご協力いただき誠にありがとうございます。

現在、医療機関からの依頼を受ける約95%が400mL献血由来の赤血球製剤であり、200mL献血による赤血球製剤は約5%と大変少ない状況です。(平成26年度)

200mL献血由来の血液製剤は、小児・新生児の輸血などごく限られた患者さんに対してのみ使用されるのが現状です。また、小児・新生児用はできるだけ採血後の経過日数が少ないものが望まれるため、無駄にならないよう毎日200mL献血の必要数を調整しています。

つきましては、200mL献血の必要数が各会場において確保させていただいた場合には、200mL献血の受付を終了させていただくことがありますので、なにとぞご理解ご協力をお願い申し上げます。

## なぜ医療機関で400mL献血由来の赤血球製剤が求められるか



人間一人ひとりの血液は、血液型が同じでも微妙に異なっているため、多数の献血者から輸血するほど、副作用(発熱、発疹等)発生のリスクが高くなります。

たとえば、800mLの輸血を行う場合、200mL献血からの血液では4人分必要ですが、400mL献血では2人分で済むため、輸血による副作用の発生率が2分の1となります。

400mL献血は、少数の献血者からの輸血を可能にし、安全性を向上させる献血方法です。